

文学と友情に人生をささげた物語。

恋は苦手ぞなし

# 『ノボさん』

：小説正岡子規と夏目漱石

伊集院静著、講談社 2013.11、2F文学賞 (913.6//I29//司馬遼太郎)

35歳で短い生涯を閉じた明治の文学者「正岡子規」。誰からも愛された彼の、人間くさい魅力が詰まった1冊です。

紹介者：甲田



## 1階展示



「手遅れ」になる前に！

12月展示

# 論文 レポート プレゼン術



論文・レポート・プレゼンテーションの資料を展示します。こうした技術や知識は、学業はもちろん、就職活動や社会に出てからも、必ずあなたを助ける力になるはずですよ！！

発行：城西大学水田記念図書館  
350-0295  
埼玉県坂戸市けやき台1-1

TEL:049-271-7736 mail: library1@josai.ac.jp  
FAX:049-286-8126 URL: https://ibopac.josai.ac.jp/

P.1 巻頭言 P.2-3. 学生アドバイザー通信スペシャル  
P.4 研究室訪問、インフォメーション ほか

# Book Mark

2019.12 vol.127

### 図書館へ行こう！

### 理学部 准教授 橋本雅司

私が初めて自主的に大学の図書館へ行ったのは学部1年生の6月に、科目の中間試験の準備をするためでした。1年生の後期から、学生実験が始まりました。実験の準備では、新しい実験操作や取扱う物質の沸点や毒性、取扱い上の注意など調べることがたくさんありました。これらの情報を、図書館へ足を運び、化学便覧や実験化学講座などの本をめくって情報を集め、レポートを書くときには、考察に必要な参考資料として図書館の本を利用しました。卒業研究に取り組む4年生の時には、研究に必要な学術論文を探したり、自分で合成した物質の新規性をChemical Abstractで確認したり図書館を利用する機会は、さらに増えていきました。

現在では、物質の沸点や取扱い方法は、スマートフォンやパソコンでグーグル先生に聞けば瞬時に情報を得ることができます。また、講義のノートや動画を配信している大学も数多くあり、講義でわからないことも、インターネットを使えば必要な情報をいつでも手軽に得ることができます。また、研究スタイルも研究室のパソコンからSciFinderやScopusを使って先行研究を調査し、対象となる論文のほとんどをダイレクトにWeb経由で閲覧することができます。しかし、これらのツールを利用できるのは水田記念図書館が検索サービスと文献閲覧の契約をしているからということをお忘れはいけません。

このように、インターネットで多くの情報を効率的に得られる時代に、私はあえて“図書館へ足を運び、本や論文を探す”ことをお薦めしたいと思います。それは、以前、私が必要な論文を図書館で冊子体から探していた時に、目に飛び込んできた別の論文が、新しいアイデアを生み出すきっかけになったことがあるからです。また、図書館の本棚で偶然見つけた、“クロミック材料の開発”という本に出合っていなければ、私は、有機材料の研究者にはなっていなかったでしょう。

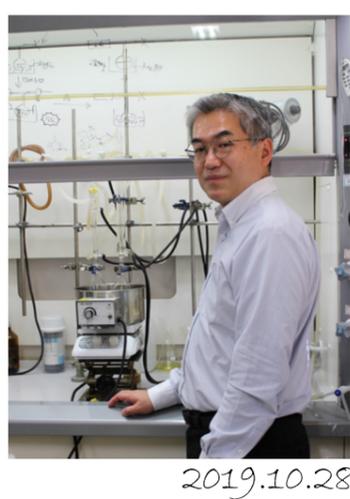
インターネットを使った効率的なツールなしでは生き残っていけないのも事実ですが、新しい発見や出会いのきっかけが、図書館の本棚に隠れている可能性があることを知ってほしいと思います。

まずは、だまされたと思って、図書館へ行ってみましょう！

新しい出会いが待っているはずですよ！

## 研究室訪問 vol. 19

### 理学部化学科 准教授 橋本雅司 先生



2019.10.28

第19回ライブラリーラウンジの講師をお願いした、橋本先生の研究室にお邪魔しました。先生は城西大学の卒業生で、民間企業での研究職を経て着任されました。会社員時代も当館をたびたび利用されていたとのこと。ここにしかない専門書もあり重宝したそうで、電子ジャーナルなども含め、この規模の大学としては充実した資料を備えているとご評価いただきました。

学生には「指定された教科書だけではなく、同テーマの、著者が異なる本も読んでほしい」とのメッセージをいただきました。視点を変えれば理解できることもあるので、自分に合ったテキストを見つけるのが近道とのこと。

また化学科の学生にとって必須のデータベース『SciFinder』について「最初は何に役立つのかわからないかもしれないが、研究を始めるとなくてはならないツール。研究室配属前に必ず触れてほしい」とのこと。毎年3月に『SciFinder』講習会を実施していますので、化学科の皆さんは忘れずに受講しましょう。



## インフォメーション



### 「全国大学ビブリオバトル2019 ~首都決戦~関東地区決戦」結果報告

#### 舞台は激闘必死の関東地区決戦へ！

10/2(水)開催の学内予選会を勝ち抜いた3名が関東地区決戦へ出場しました。惜しくも首都決戦出場とはなりませんでしたが、各々の渾身の発表に、応援に行った図書館員が思わず涙するほどでした。



現代政策学部2年生 内藤さん 『コーヒーが冷めないうちに』 川口俊和著  
経済学部1年生 竹末さん 『風に舞いあがるビニールシート』 森絵都著  
理学部化学科4年生 寺谷さん 『シェイプ・オブ・ウォーター』 キレシモ・テレルロ [抄] 著

- 11/6 医中誌Web利用講習会を開催
- 11/10 「全国大学ビブリオバトル2019~首都決戦~地区予選」Dブロック 城西大学生1名が参加
- 11/10 第5回ビブリオバトル坂戸図書館に城西大学生2名が出演、内1名がチャンプ本獲得
- 11/11-12 図書館サービス向上のためのアンケート実施
- 11/12-14 第21回図書館総合展に参加
- 11/12 「全国大学ビブリオバトル2019~首都決戦~地区予選」Cブロック 城西大学生1名が参加
- 11/18 第19回ライブラリーラウンジを開催

## 図書館主催講演会

### 「出版者が語る、ここだけの話」開催報告

#### パネラーは大手出版社の社長さん!? しかも3人も!?

11/27(水)17号館にて行った講演会では、日本を代表する出版社である筑摩書房、平凡社、柏書房の社長をパネラーに迎え、貴重な「ここだけの話」を聞かせていただきました。



出版業界の事や、仕事のおもしろさについて知ることができました。(現代政策学部1年)

「本は心の栄養」という言葉に感銘を受けました。(現代政策学部1年)

- 11/20 メディカルオンライン利用講習会を開催
- 11/22 Open Library Weeks2019城西大学企画「学生アドバイザーのその後-OLW2014からの成長について-」開催
- 11/27 図書館主催出版者講演会「出版者が語る、ここだけの話」開催(学生選書同時開催)
- 11/29 2019年度第2回図書館合同(運営・選書)委員会開催
- 11/30 Supporters'Forum2019に参加
- オープンキャンパス (11/3) 図書館見学40名 キーワードラリー参加者21名
- 高校生見学 (11/1・15・19・22) 高校生160名

### 図書館は12/29~1/3まで 年末年始のお休みです。

### 学生アドバイザーは 12/25~1/5まで 不在です。



気をつけて来てね！

12月							1月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7			1	2	3	4	
8	9	10	11	12	13	14	5	6	7	8	9	10	11
15	16	17	18	19	20	21	12	13	14	15	16	17	18
22	23	24	25	26	27	28	19	20	21	22	23	24	25
29	30	31					26	27	28	29	30	31	

- 平日 9:00-21:00
- 土曜 9:00-19:00
- 日曜 9:00-17:00
- 休館
- 試験期間 8:30-21:00



11/3 ビブリアバトル2019  
in 高麗祭



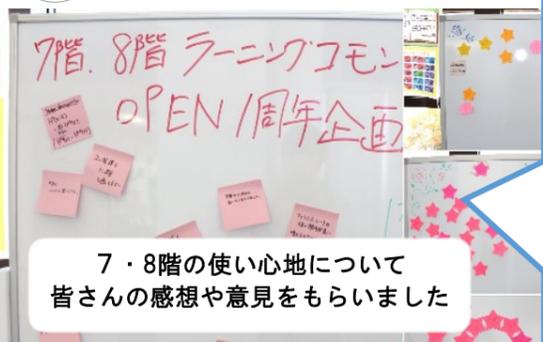
63名の投票により  
チャンプ本が決定

令和初のビブリアバトル特別戦には5名が登場。経済学部1年生の竹末さんが紹介した『風に舞いあがるビニールシート / 森絵都著』が学内チャンプ本となりました。  
(主催：学生アドバイザー)

観戦に来てくれていた2014・15年度学生アドバイザー（経営学部卒）の星野さんより、コメントをいただきました。

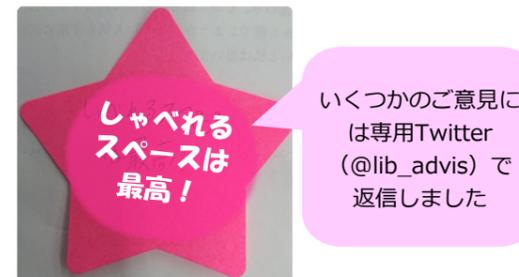
今回のバトルは観覧された方に素晴らしいプレゼントを渡していたと思います。本と巡り合い、学び、体験したことを全力でプレゼントしている姿は美しかったです。そしてそれを全力で支えるアドバイザーも輝いていました。そういったプレゼントの交換や感動こそ高麗祭ビブリアバトルの魅力であり、面白さであると、OBとなって改めて感じ、感動いたしました。この活動や体験が、これから、より多くの方々に届くことを願っています。

ラーニングcommons 1周年



7・8階の使い心地について  
皆さんの感想や意見をもらいました

城西大学図書館アドバイザー @lib\_advis  
ありがとうございます！今後も課題や話し合いで、ラーニングcommonsを大いにご活用ください。



しゃべれる  
スペースは  
最高！

いくつかのご意見には専用Twitter (@lib\_advis) で返信しました

11/12-14 第21回図書館総合展

今年は全国より30,402名の図書館関係者が来場。城西大学は毎年ポスターセッションに出展し、本学をPRしています。



全国109の団体が  
ポスターを出展

ポスターセッション  
学生アドバイザーが渾身のポスターを作成しました！

テーマは  
「図書館探検」

アドバイザーも出展ブースに立会い、図書館の紹介や取組みをPRしました。



第4回全国学生協働サミット

8大学の学生  
教職員が参加

薬学研究科薬科学専攻（博士前期課程）  
2年アドバイザー  
佐藤

学生協働サミットは、図書館で活動する学生が集結し、各大学での様々な活動の周知や学生間の交流を図る場です。活動報告会では学生アドバイザーの活動について講演し「面白い企画が沢山あって参考にしたい」等、沢山の意見を頂きました。グループワークも開催され、図書館の未来を他大学の学生と議論する良い機会でした。

経営学部4年アドバイザー 川原  
私はパソコンでみんなの作成した記事をまとめることや、iPadで写真を編集することを担当しました。作業がなかなか進まず苦しい時期もありましたが、何とか図書館総合展の前日に完成しました。アドバイザーだけでなく職員の方の力もあり素晴らしい作品を作成することができました。ありがとうございました。

現代政策学部3年アドバイザー 鷹野  
レタリングができるというだけでポスター制作に一から関わらせていただきました。難しいこともありましたが、見てくださった方や触ってくださった方から、「すごい！」とお言葉をいただく度に、頑張ってきたよかったなと思いました。もし来年も出展するのであれば、スケジュールに余裕を持って作業したいです。



展示ブースツアー

理学研究科物質科学専攻1年  
アドバイザー 小島  
図書館や本に関わる主要企業のブースを案内していただきました。出版社や書庫用の備品メーカーだけでなく、論文管理の会社など様々な企業ブースを回り、各ブースにて社員の方から、わかりやすい丁寧な説明で展示物を紹介していただきました。



月替おすすめ本展示  
月替わりでテーマを決めて、アドバイザーおすすめ本を紹介しています。  
プレゼント付きのテーマ当てクイズ実施中

11/18 第19回ライブラリーラウンジ  
「ディスプレイの仕組みと化学のお話」

ライブラリーラウンジは、学部を超えた交流を楽しめる図書館のイベントです。アドバイザー主体で行っています。



久しぶりに化学に触れた（現代政策3年）

理学部化学科准教授の橋本雅司先生を講師にお招きし、液晶ディスプレイなど、身近な化学についてお話いただきました。  
(参加人数：28名)

とても面白かった（経営3年）

経営学部3年アドバイザー 田口

今回第19回目になるライブラリーラウンジは、私たちが日頃使用しているパソコン・テレビ・スマートフォン・小型ゲーム機のディスプレイに関する話でした。橋本先生のお話は、ディスプレイや光の三原色から、液晶の構造や役割について、実験を交えてとてもわかりやすいものでした。温度による液晶の変化を実験で観察したり、3D眼鏡をかけて映像を見ることを体験しました。薄型の液晶テレビが当たり前となった今、子供の頃の重たいブラウン管テレビを懐かしく思うと同時に、科学技術の力を感じます。大学に入学してから、化学の話聞くのは久しぶりだったので懐かしい感覚もあり、楽しい時間を過ごすことができました。

11/22 SALA Open Library Weeks 2019 「学生アドバイザーのその後 - OLV2014からの成長について -」



アドバイザーが活動を発表

他大学の学生との交流もできました

薬学部薬学科5年アドバイザー 田中  
OLWに参加して最も意外だったのは、多くの大学から助言を求められたことです。その多くは、私たちがこれまで悩んできた事と関係していました。アドバイザー数の問題や、イベントの内容、学習相談について等です。例えば、私がアドバイザーになった3年前は授業内容に関する質問が多かったのですが、今では、特に薬学部での教育支援室の充実に伴い、図書館側はより学際的な相談内容が多くなってきているように感じます。実際、この3年間で図書館アドバイザーの業務は大きく変わりました。OLWでそれを参考にしてくださる大学図書館が多いことはとても光栄であり、今後もアドバイザーの活動を、より良いものにしていかなければならないと感じています。